※令和４年度以降入学生用

学校番号	T2101

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「高校生の美術１」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

- 感じ取ったことから考える「絵画・彫刻」、目的や機能から考える「デザイン」、感じ取ったこと・目的や機能から考える「映像メディア表現」と「鑑賞」の分野について学習します。
- 一人ひとり、思いや見方、感じ方が違います。表現形式の特性や形体・色彩などについて着目して、自分なりの感じ方や見方、表現を深めていきましょう。違った見方を「鑑賞」で共有すると、また更に広がったり深まったりします。

２　学習の到達目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	● 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ● 創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。	● 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	● 美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
4月(10月)	オリエンテーション～美術とは何か	【鑑賞】 ・オリエンテーション 「美術とは何か」 「視点と表し方」 「光を捉える」 【表現】 「身近なものを描く」 「植物を描く」 「私の見付けた風景」 「人物を描く」	a:造形の要素の働きを理解し、絵画における造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などを自分なりに捉えることを理解する。 a:様々なものの特徴や美しさなどを全体のイメージで捉えることを理解している。 b:様々なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かし、形や色彩、質感などを考え、創造的な構想を練っている。 c:様々なものの特徴や美しさなどを観察し、感じ取ったことや考えたことを基にした表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート 鑑賞 ワークシート 作品提出	作品提出	鑑賞 作品提出 ワークシート
	日本美術	【鑑賞】 「日本美術」 「浮世絵版画」 【表現】 「版で表す」消しゴム版画で蔵書印を作る。 「墨表現の可能性」 墨の濃淡でｲﾒｰｼﾞを表す。	a:空間の効果や構図、色彩などを基に、全体のイメージや作風、様式などを捉えることを理解している。 b:様々な日本美術の美しさを感じ取り、日本の美術の表現の特質、美術文化の継承と創造について考えるなどして、見方や感じ方を広げ、作品にも反映させることができている。 c:日本美術のよさや美しさなどを鑑賞する創造活動に、主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート	鑑賞 作品提出	鑑賞 作品提出
5月(11月)	漫画の表現と視覚のトリック	【鑑賞】 「コマ割りや効果線の数々」 「背景と擬声語」 「錯視画」 「不思議な世界の表現効果」 【表現】 「4コマ漫画の作成」 「モチーフと風景」	a:漫画で用いられる様々な技術の効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風などを捉えることを理解している。 a:意図に応じてペンや筆などの特性を生かし、表現方法を創意工夫し、主題を追求して創造的に表している。 b:主題に合わせたイメージや感情、動き、時間の表現などを基に、コマ割りや構図、背景などの効果を考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に漫画表現のよさを生かして構想を練ったり、意図に応じて工夫して表したりする表現の創造活動に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート 作品提出	鑑賞 ワークシート 作品提出	鑑賞 ワークシート 作品提出

※令和４年度以降入学生用

6月（12月）	立体で表す	【鑑賞】 「作家探究～レオナルド・ダ・ヴィンチ」」 「彫刻の魅力」 「祈りの形」 【表現】 「手の彫像の作成」	a:形や質感、重心やバランス、動きなどの効果や全体のイメージ、作風、様式などで作品を捉えることを理解している。 b:感じ取ったイメージなどを基に主題を生成し、形や質感、重心やバランス、動きなどを考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:対象から感じ取ったイメージなどを基に、彫造で表す表現の創造活動に主体的に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート	鑑賞 ワークシート 作品提出	作品提出
7月（1月）	デザインを理解する	【鑑賞】 「デザインの世界」 「デザインの広がり」 「イラストレーションの魅力」 「生活を彩る模様」 「様々なパッケージデザイン」 「デザインとテクノロジー」 「作家探究～アントニ・ガウディ」 【表現】 「キャラクターのデザイン」 「体育祭のポスターを作ろう」 「自分のサインを作ろう」 「パッケージのデザイン」	a:イラストや写真、文字の形や色、構成などが感情にもたらす効果や、伝達したいことや場面を、全体のイメージで捉えることを理解している。 b:伝えたいメッセージや場面などを基に主題を生成し、形や色彩、写真やイラスト、文字などによる伝達効果を考え、構想を練っている。 c:主体的に伝えたいメッセージや場面などを効果的に表す表現の創造活動に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート	鑑賞 ワークシート 作品提出	鑑賞 作品提出
8月（2月）	映像メディア表現	【鑑賞】 「写真表現の世界」 「アニメーションの手法」 「映像で伝えるメッセージ」 「映像に包まれて」 【表現】 「学校風景の写真撮影」 「パラパラアニメの作成」 「メッセージ映像の作成」	a:角度や配置、拡大や縮小、光や影、時間の静止などの効果、造形的な特徴などを基に、全体のイメージや作風、様式などで捉えることを理解している。 b:感じ取ったことや考えたこと、などを基に、映像表現の特性を生かして主題を生成し、構図や光、シャッター速度などの映像表現の働きについて考え、創造的な表現の構想を練っている。 c:美術や美術文化と豊かに関わり、主体的に映像による表現と鑑賞創造活動に取り組もうとしている。	鑑賞 ワークシート	鑑賞 ワークシート 作品提出	鑑賞 ワークシート 作品提出

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度